

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



心をひとつに 響け、
みんなのハーモニー

◎第28回町内小学校音楽発表会

11月9日、オークホールで小学校音楽発表会が行われ
児童の歌や合奏がホールに響き渡りました。この日に向
けて、練習に励んできた児童たちが、心をひとつに合唱
や和太鼓、ハンドベル、鼓笛などの演奏を披露すると訪
れた保護者からは、温かい拍手が送られていました。

DEC.2016

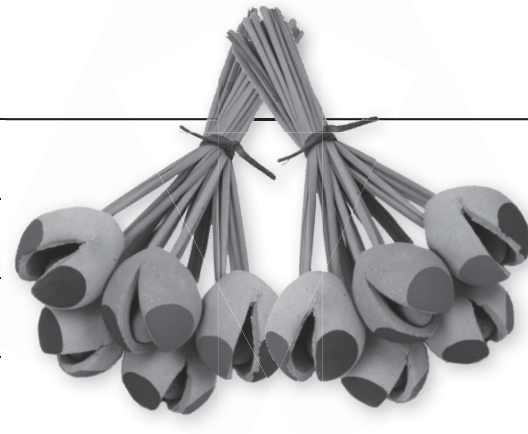
12
No.662



1616	小倉藩主・細川忠興が大講堂を再建する
1624	佐賀藩主・鍋島勝茂が上宮拝殿を造営
1637	佐賀藩主・鍋島勝茂が銅鳥居を寄進
1729	霊元法皇の院宣により「英彦山」となる



819	霊仙寺（現在の英彦山神宮）建立
1197	大友能直が彦山三所権現御正体を奉納
1568	大友宗麟が彦山襲来、山伏が自衛し戦う（諸説あり）
1576	大友軍が彦山を攻めて、寺院坊中残らず焼失



531	僧善正上人が彦山を開山したと言われる（鎮西彦山縁起）
701	役行者 ゆえんのぎょうじや が彦山に登ったと伝わる
706	文武天皇が鈴一口を彦山に奉納（英彦山土鈴考）
734	役行者の門流寿元が彦山に入峯し、修験道を開く



英彦山 歴史年表

古代から現代まで
英彦山で起こった
主な出来事を抜粋

←国指定重要文化財の銅鳥居
鍋島勝茂が寄進しました

↑国指定重要文化財の彦山三所権現御正体（英彦山神宮所蔵）

↑文武天皇が彦山に奉納した土鈴が現在の英彦山がらと言われています

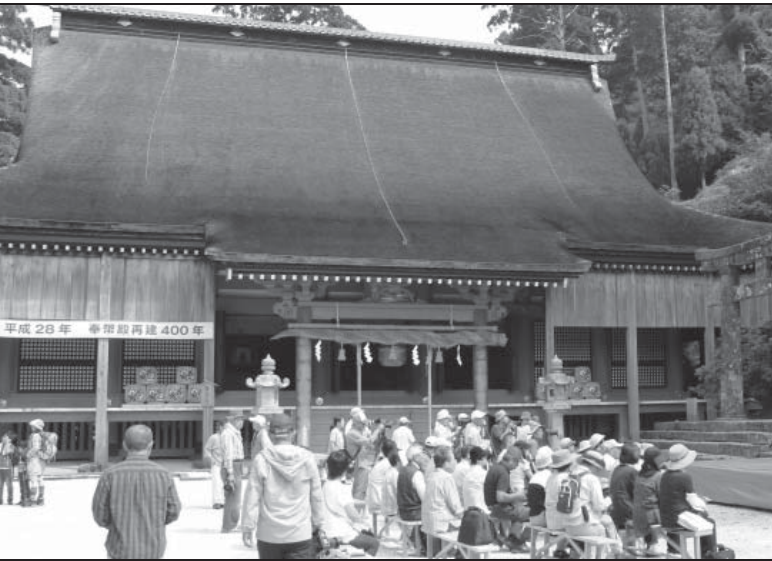
※役行者…飛鳥時代から奈良時代の呪術者で修験道の開祖とされている

↑彦山の開祖と言われる善生上人と藤原恒雄像（英彦山神宮所蔵）

英彦山神宮奉幣殿再建400年／英彦山国史跡指定へ答申

英彦山その歴史と文化

古くから山伏が修行する修験道の山として人々から信仰されてきた英彦山。英彦山神宮奉幣殿再建 400 年となる今年、英彦山が国の史跡に指定されるため、文部科学大臣に答申されました。今月号では、古くから伝わる英彦山のその歴史と文化にスポットをあてました。

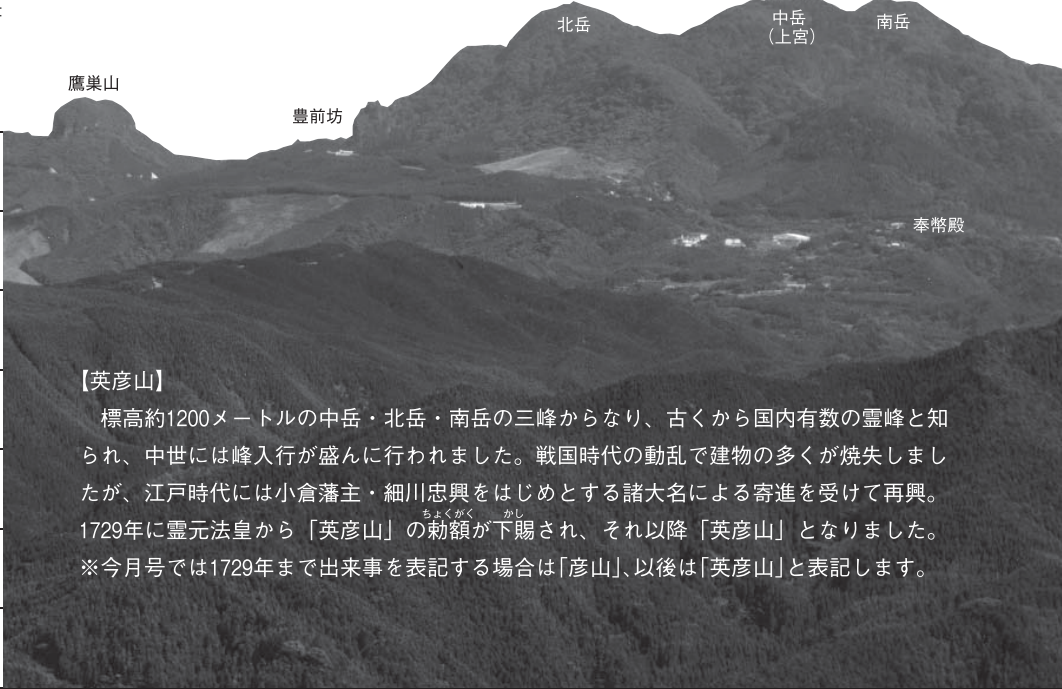


細川忠興が再建、小笠原家に保護 戦火を乗り越え、受け継がれる信仰

国指定重要文化財 英彦山神宮奉幣殿

1568年、大友宗麟によって焼き打ちにされた当時の霊仙寺大講堂ですが、江戸時代の1616年に小倉藩主・細川忠興が再建し、寄進しました。江戸時代以降は、細川家の後に小倉藩を治めた小笠原家によって幾度の修理がなされ、小笠原家の家紋である三階菱が装飾されるなど、その名残を見ることができます。明治時代に入ると神仏分離令や修験道廃止令により、神と仏を混在することが禁止され、英彦山は仏を廃し「英彦山神社」となり、修験道が廃止、大講堂は「奉幣殿」と改称されました。

1868	神仏分離により英彦山神社に改称
1872	修験道廃止令により、修験道が廃止となる
1875	この頃、大講堂の名称が奉幣殿と改称される
1907	英彦山神社奉幣殿が国の重要文化財に指定される
1950	耶馬日田英彦山国定公園として指定される
1975	英彦山神社が英彦山神宮となる
2016	英彦山が国史跡指定へ答申される



【英彦山】

標高約1200メートルの中岳・北岳・南岳の三峰からなり、古くから国内有数の霊峰と知られ、中世には峰入行が盛んに行われました。戦国時代の動乱で建物の多くが焼失しましたが、江戸時代には小倉藩主・細川忠興をはじめとする諸大名による寄進を受けて再興。1729年に霊元法皇から「英彦山」の勅額が下賜され、それ以降「英彦山」となりました。※今月号では1729年まで出来事を表記する場合は「彦山」、以後は「英彦山」と表記します。

↓ 神話の里、宮崎県の高千穂神楽が10月22日に奉納されました

↓ 9月11日、国指定重要文化財豊前神楽の山内神楽講が湯立神楽を奉納しました



↑10月9日、津野神楽保存会が奉納。鬼に抱かれた子どもは健やかに成長するといわれています



再建400年記念 神楽奉納

英彦山神宮では奉幣殿再建 400 年を記念し、出雲と豊前、津野、高千穂といった各地の神楽が奉納されました。

↑島根県無形民俗文化財の出雲國大原神主神楽保存会による神楽（9月10日）

妻・ガラシャをしのび 奉幣殿を再建した

細川 忠興

永禄6(1563)年
～正保2(1645)年

豊臣秀吉や徳川家康などの有力者に仕え、現在まで続く肥後細川家の礎を築きました。関ヶ原の戦いの功績で初代小倉藩主となり、戦国の動乱で灰じんとした英彦山再興に尽力。大講堂を寄進した年は妻、細川ガラシャの十七回忌にあたります。



↑細川忠興・ガラシャ像(京都府長岡京市勝竜寺城公園内)



INTERVIEW

ロマンあふれる英彦山を 後世まで残していきたい

英彦山神宮 高千穂 秀敏 宮 司

戦国時代の動乱で戦火にさらされた英彦山を再興した細川忠興公。奉幣殿を再建した年が細川ガラシャの十七回忌にあたることは、細川忠興公とガラシャの夫婦愛、そして英彦山の歴史にロマンを感じます。その400年後に史跡答申がなされたことは、感無量で、英彦山神宮としても嬉しく思います。これから歴史と文化、そしてロマンがあふれる英彦山を信仰の立場から、後世にまで受け継いでいきたいと思います。



↑ 護摩焚きのあと、まだまだ熱い炭の上を裸足になって歩く、火渡りが行われました

【英彦山神宮護摩焚き】

11月3日、英彦山神宮の境内で神職と僧侶、修験者たちが一堂に会した護摩焚きが行われました。修験道の霊山として栄えた英彦山では、江戸時代まで神仏混合の護摩焚きが行われていました。しかし、神仏分離令で明治時代以降は途絶えていましたが、昨年、約150年ぶりに復活しました。



↑ 神職と僧侶、修験者が一堂に会して行われた護摩焚き。参拝者の無病息災や家内安全を願い、護摩木を次々に投げいれました

↑ 一心に般若心経を唱える高千穂有昭禰宜

今回の史跡指定される範囲は約90畝で、三峰や奉幣殿、玉屋神社や智室窟などが含まれ、そのおよそ9割が英彦山神宮などの社寺有地となっています。添田町は、平成22年度から西谷正調査指導委員長（海の道むなかた館館長）のもと、英彦山総合調査を実施。レーザー測量といった最新の技術を導入し、その歴史的範囲や変遷などについて明らかにしました。

添田町では、歴史的風致維持向上計画とあわせ、文化財を保護しながら、多くの人に訪れてもらえるような取り組みを進めていきます。

戦国時代には焼き打ちにありました。江戸時代に小倉藩主らの寄進を受けて再興。三千人の山伏と800の坊舎を数え、彦山三千八百坊とうたわれました。今回、英彦山は古代からの信仰や宗教活動を示す遺構が保存されていることが評価され、日本を代表する山岳信仰の霊山として極めて高い価値を有することから、新たに史跡指定へ答申されました。

豊かな歴史と文化を まちづくりへ活かす

英彦山神宮奉幣殿再建400年／英彦山国史跡指定へ答申

歴史と文化を後世に

11月18日、文化庁文化審議会が開催され、英彦山を国史跡とすることが文部科学大臣に答申されました。今回の答申で英彦山は、日本を代表する山岳信仰の霊山として学術的に高い評価を受けました。町では後世にわたり、史跡を保存しながら、多くの人に英彦山に訪れてもらうため取り組みます。

およそ800か所もの建物跡を確認

英彦山門前町レーザー測量図

町では、平成22年度から英彦山総合調査を行い、昨年11月23日にオークホールで英彦山総合調査報告会を開催しました。その中で英彦山を上空からレーザー測量した結果、建物跡と思われる約800か所の平地を確認したことを報告。英彦山の大規模な修験集落などの遺構群の構成が解明されました。



↓ 銅鳥居にかけられている英彦山の勅額

↑ 彦山の始まりといわれる玉屋神社（玉屋窟）

↑ 旧座主院跡の九州大学農学部附属彦山生物学実験所（旧九州帝国大学生物学研究所）

【国史跡とは】
貝塚や古墳、都城跡、城跡、旧宅など、その他遺跡に該当するものの中から、歴史上または学術上価値が高いと認められ、保護が必要なものについて、国が指定を行ったもの。今回の英彦山は、添田町では初めて、福岡県内で90番目となる。

自然と歴史、文化のまちづくりを推進

文化財を保存継承するために

添田町では、英彦山を日本を代表する山岳信仰の霊山として、後世まで適正に保存継承する必要があります。そのため、史跡を守することは当然ながら、英彦山を知ってもらい、さらに、添田町の歴史文化遺産の魅力を「知って、来て、感じて」もらう取り組みを進めていきます。

●特集／英彦山その歴史と文化【取材協力：英彦山神宮】

INTERVIEW

歴史や文化を肌で感じられるまちづくりを皆さんと

添田町長 寺西 明男

11月18日、文化庁の文化審議会が英彦山を史跡に指定すると答申がありました。1616年、細川忠興公の寄進から奉幣殿再建400年の記念すべき年に史跡答申がなされたことは、非常に感慨深いものがあります。英彦山総合調査をはじめとした英彦山の調査や保護活動にご指導を頂いた先生方や英彦山神宮高千穂秀敏宮司、地域の関係者に対して、厚く御礼を申し上げます。英彦山に古代からの信仰や宗教活動を示す遺

構が多く残されているのは、今なお続く、英彦山への信仰と地域の皆様の支えの賜物です。今回の史跡指定を受け、添田町では歴史的風致維持向上計画とあわせ、英彦山を我が国を代表する山岳信仰の霊山として後世まで適正に保存継承していきます。また、訪れた人が歴史の価値や文化の薫りを肌で感じることができる添田町を皆様と一緒につくってまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



添田町
人事行政の
運営状況



添田町人事行政の運営等の状況
の公表に関する条例に基づき町
の人事行政の運営状況をお知ら
せします。

問役場総務課総務係 ☎82-1231

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間

始業時間	就業時間	休憩時間	1 週間の勤務時間
8 時30分	17時15分	12時～13時	38時間45分

※ 職場などにより上記と異なる場合がある。

(2) 休暇

休暇の種類(主なもの)		休暇の期間
年次有給休暇		年 20日
病気休暇		結核性疾患の場合、1 年以内 その他の疾病の場合、90日以内
特別休暇	職員の結婚休暇	連続する 5 日の範囲内
	産前・産後休暇	産前 6 週間(多児妊娠の場合は14週間) 産後 8 週間
	妻の出産休暇	2 日の範囲内
	子の看護休暇	1 の年において 5 日の範囲内
	忌引き	親族に応じ 1 日から 7 日の範囲内
夏季休暇		1 の年の 7 月から 9 月までの期間に 3 日の範囲内

6 職員の服務の状況

区 分	内 容	違反者
法令及び上司の職務上の命令に従う義務	法令に従い、かつ、上司の職務命令に従わなければならない	0
信用失墜行為の禁止	職の信用を傷つけ、又は職の不名誉になるような行為をしてはならない	0
秘密を守る義務	職務上知り得た秘密を漏らしてはならない	0
職務に専念する義務	勤務時間中、職務にのみ専念しなければならない	0
政治的行為の制限	政治的活動をしてはならない	0
争議行為等の禁止	ストライキ等をしてはならない	0
営利事業等の従事制限	営利を目的とする私企業を営み、又は役員等になり報酬を得てはならない	0

7 職員の研修の状況 (平成27年度)

研修内容	受講者数
派遣研修 (民間企業などへの派遣)	0 人
福岡県市町村職員研修所研修	延 66人
特別研修 (業務遂行上必要な資格取得のための研修)	0 人
一般研修 (人事評価研修など)	延519人
人権・同和研修 (田川地区自治体同和研修など)	延 82人

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

内 容	降 任	免 職	休 職	降 級
分限処分者数	—	—	—	—
懲戒処分者数	—	—	—	—

5 職員の退職管理の状況

(1) 職員の退職状況

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

退職者数	管理職職員	管理職以外	合 計
退職者数	1 人	3 人	4 人

退職時に管理職にあった者についての公益法人等外部
の組織に再就職した状況 (平成28年 4 月 1 日現在)

再就職先	公益的法人	非営利団体	営利団体	その他
再就職者数	0 人	0 人	0 人	0 人

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免状況

年度 任免	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
採用者数	12	22	6	4	8	3
退職者数	7	6	4	7	6	4

(2) 職員数の推移

年度 部 門	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	過去 5 年間の 増減数と率 (%)	
一般行政	114	113	111	114	110	105	△ 9	△ 7.9%
教育	19	18	20	20	20	22	3	15.8%
消防	—	—	—	—	—	—	—	—
普通会計	133	131	131	134	130	127	△ 6	△ 4.5%
公営企業等会計	14	15	15	14	15	15	1	7.1%
計	147	146	146	148	145	142	△ 5	△ 3.4%

※各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

(3) 年齢別職員構成の状況 (各年 4 月 1 日現在)

職員数 区分	20歳 未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
平成27年度	1	5	24	26	13	14	16	16	14	8	8	0	145
平成28年度	0	2	22	29	12	14	16	15	14	10	8	0	142

2 職員の給与の状況

(1) 職員給与費の状況 (平成27年度普通会計決算)

職員数 (A)	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)
134人	4 億6,436万 2 千円	6,429万 7千円	1 億 7,523万円	7 億388万 9 千円

【参考】一人当たり給与費(B／A) 506万 4 千円

- ※ 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成27年 4 月 1 日現在の人数である。
3 給与費については、任意付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない(平成27年度については、任期付短時間勤務職員は 5 人です)

(2) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況
(平成28年 4 月 1 日)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
添田町	38.3歳	285,063円	315,326円

- ※ 1 「平均給料月額」とは、平成28年 4 月 1 日現在における
職員の基本給の平均である。
2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶
養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべ
ての諸手当の額を合計したもの。

(3) 職員の初任給の状況(平成28年 4 月 1 日)

区 分		添田町	国
一般行政職	大学卒	176,700円	176,700円
	高校卒	144,600円	144,600円

(4) 職員の手当の状況

手当(主なもの)	内容及び支給単価	国の制度
扶養手当	配偶者13,000円 配偶者のない職員の扶養親族11,000円 その他の扶養親族6,500円 16歳から22歳までの子 1 人5,000円加算	同左
住居手当	貸家貸間12,000円を超える部分最高27,000円 自宅新築及び購入 5 年間月額2,500円	自宅に係る 補助はなし
通勤手当	交通機関利用者全額支給55,000円限度 自家用車利用者 2 km以上2,000円～24,500円	同左
管理職手当	監督管理職にあるもの 給与月額の15/100以内	官職に応じ定額支給
宿日直手当	一般の宿日直 日額4,200円 常直 月額21,000円	同左
期末手当	2.60月分(再任用については1.45月分)	同左
勤勉手当	1.60月分(再任用については0.75月分)	同左
時間外勤務手当	正規の勤務時間以外に勤務した職員に対して支給	同左

(5) 特別職の報酬等の状況
(平成28年 4 月 1 日)

区 分		給料月額等	期末手当
給料	町 長	762,000円	2.60月分
	副町長	611,000円	2.60月分
報酬	議 長	304,000円	2.60月分
	副議長	269,000円	2.60月分
	議 員	248,000円	2.60月分

人事評価制度を導入しています

職員一人ひとりの能力を引き出し、育て、活かして、
住民から期待され信頼される職員に成長すること、お
よび職場のコミュニケーションの円滑化を図り、組織
の活性化を図るため人事評価を実施しています。

●評価の種類

【業績評価】

- ①初期に設定した目標の達成度を期末に評価

【行動評価】

- ①成績評価：仕事の正確さや迅速性について評価
②能力評価：職責を果たすうえで発揮された
能力について評価

- ③態度評価：仕事に対する取組み姿勢を評価

●対象者

休職などの事由がある者は除き一般職の全職員

住民サービスの
向上を目指して



INFORMATION

各自で凍結の対策を



水道の凍結・漏水の予防と対策をしましょう

図 役場水道課管理係 (☎ 82-5961)

昨年度の寒波では、宅内漏水が町内で約250件発生し、断水などの影響が出ました。今年度も寒波が来る恐れがありますので、十分な予防・対策をお願いします。

●屋外に露出している水道管を保温しましょう

屋外に露出している水道管は最も注意が必要です。保温材、タオル、布などを水道管に巻いて保温することで、凍結が起きにくくなります。

①屋外に露出している水道管に保温材を取り付ける

②屋外に露出している水道管に厚手のタオル、布を巻きつけて濡れないようにビニール袋を巻き、その上からビニールテープを巻く



翌朝の最低気温がマイナス4度以下になると予想されるなど、冷え込みが厳しくなるときは、浴槽などに少しずつ水を出しておくなどの工夫をしてください。

●水道が凍結して水が出ないときの対処法

気温の上昇で、凍結した水道管が自然に溶けるのを待つか、凍った水道管やじゃ口にタオルを巻きつけ、ぬるま湯をかけてゆっくりと溶かしていきます。熱湯をかけたり、凍ったじゃ口を無理にひねったりすると、破損する恐れがあります。



法律が改正されました



農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

図 添田町農業委員会 (☎ 82-1237)

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員の選出方法が、これまでの選挙制から、農業者などからの推薦のほか、募集を行ったうえで議会の同意を得て町長が任命することになりました。また、農地利用最適化推進委員が新設されました。この選任方法は、農業者などからの推薦のほか、募集を行ったうえで、農業委員会が委嘱することとなります。そこで町では農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。



▶定数

▷農業委員11人 ▷農地利用最適化推進委員8人

▶主な職務内容

▷農業委員 ①毎月1回の農業委員会定例会に出席し、農地の権利移動等の許認可及び農地転用に関する意見等の決定 ②農地法等に基づく申請内容の調

査 ③遊休農地の発生防止及び解消に向けての調査 ▷農地利用最適化推進委員 ①農地利用状況調査や農地利用意向調査 ②担当地区内のパトロール ③担い手への農地集積推進活動

▶任期

▷農業委員 平成29年7月20日～平成32年7月19日(3年間) ▷農地利用最適化推進委員 農業委員会が委嘱した日から平成32年7月19日(3年間)

▶募集方法

応募、または推薦(個人または団体推薦)で所定の様式に必要な事項を記入し郵送または直接添田町農業委員会へ提出

※様式は農業委員会事務局で配布します。町ホームページからもダウンロードできます。

▶募集期間 12月15日(木)～平成29年1月20日(金)必着

平日8時30分～17時

※詳しくは添田町農業委員会に問い合わせください。

伊原水路を作った 利水翁・伊藤次郎右衛門

今から約120年前、伊原地区にある石碑が建てられました。江戸時代、干ばつに苦しむ村民のために私財を投げ打って水路を完成させた伊藤次郎右衛門を称える利水翁之碑です。



文／西山紘二学芸員(まちづくり課文化財係)

●参考文献 郷土史誌「そえだ」第9号(添田郷土史会・昭和60年3月発行)

明治28年(1895)にひとつの石碑が建てられました。現在は、伊原地区の光雲寺から大任町方面へ向かって100メートルほどの場所にある石碑。

その上部には英彦山神社宮司の高千穂宣麿によって書かれた「利水翁之碑」の文字が浮き彫りで施されています。利水翁とは、伊藤次郎右衛門のこととて、寛永9年(1632)正月に伊原村で生まれま

した。性格は素直で、家は代々、村役人の仕事を受け持つており、34歳の時に父の跡を継ぎ、庄屋役を勤めています。利水とは水の流れを良くする、

水の利用を図ることを意味し、次郎右衛門は、利水翁と称される通り、熱心に村内の水路整備に取り組みました。伊原村は水



費用がかかるため反対されましたが、次郎右衛門は自ら鎌や鍬を持ち、私財を投じて、工事の計画を進めました。測量や設計に10年の時間を費やした後、延宝元年(1673)から工事を開始。3年かけて約4キロメートルの水路を完成させました。

利が乏しく、毎年のように田の水が干上がり、稲が枯れるなど、村民は困っていました。そこで、次郎右衛門は水路を作ることを決意。山や谷を歩き回り、地形を調査し、彦山川から水を引くことを計画しました。村民に説明したところ、非常に

水路の完成で、村は水利に困ることがなくなり、大いに栄え、村民は喜びました。宝永5年(1708)、次郎右衛門は病で亡くなりましたが、村民はその功績をたたえ、利水翁と呼びました。

利水翁之碑

石碑には、広報そえだの平成28年3月号の歴まちコラムで取り上げた宮城犬三の甥にあたる宮城仲意による次郎右衛門を紹介する文章が刻まれています。昭和52

年には地元の高千穂神社境内で次郎右衛門の功績を多くの人々に紹介する追悼顕彰の創作劇「畠田への道」が上演。また近年では伊原農事組合が「利水翁の碑」の解説版を設置するなど、今なお、地元住民によって大切に語り継がれています。(敬称略)

毎年、正月2日と3日に行われる東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)。この学生長距離界最大の駅伝大会の出場を目指して、多くの学生が厳しい練習を続けています。添田中出身で拓殖大学陸上競技部に所属する2年生の鈴見侑大さんもその一人です。

幼いころから走ることが大好きで、英彦山の石段を駆け上がっていた鈴見さんは、添田小4年生のときに田川市の陸上クラブに入部。そのころからの目標が箱根駅伝出場でした。

毎年、阿蘇などで行われる拓殖大の夏合宿。20日間で総計約1100キロメートルを

輝くあの人に注目!!Focus on Yudai Suzumi 鈴見侑大さん

(拓殖大陸上競技部2年生)

走るこの合宿に参加した鈴見さんは「どの強豪校にも負けない走り込みで、きついときでも粘りのある走りができるようになり、自信につながった」と感想を話していました。

10月15日、箱根駅伝の予選会が行われ、拓殖大は7位で年明けの本選への出場権を獲得しました。「本選では選手として出場し、チームのシード権獲得に貢献したい。そしていつかは、小学生のころからの夢である、箱根駅伝の5区山登り挑戦」を実現させたい」と語る鈴見さん。小さいころ、英彦山を駆け巡っていた少年の夢である箱根駅伝出場に期待が高まります。

※1 箱根駅伝では10位以内の大学に次年度の出場権が与えられる



→東京都立川市で行われた箱根駅伝予選会で力走する鈴見さん



浄化槽のポスターで県知事賞を受賞

第5回浄化槽ポスターコンクール表彰

11月10日、第5回浄化槽ポスターコンクールの表彰式が津野小学校で行われ、県内の11校189点の中から3年生の岩本幸太朗くんが、見事、最優秀賞（福岡県知事賞）を受賞しました。「まさか、最優秀賞になるとは思っていなかったのでびっくりしました。浄化槽の中がきれいに描けました」と笑顔で喜びを語る岩本くん。また、津野小学校から3年生の大堀羽瑠音さん、4年生の大堀子羽音さん、城戸陽伽里さん、宮内駿輔くんが入賞しました。



↑入選した宮内くん⑥城戸さん⑥、最優秀賞（福岡県知事賞）に輝いた岩本くん⑥

皆さんに支えられて開館から17周年

道の駅歓遊舎ひこさん大感謝祭

11月21日、歓遊舎ひこさんで、17周年の大感謝祭が行われました。道の駅歓遊舎ひこさん出品者協同組合の篠崎嘉文理事長は「昨日は天気が悪かったが、今年はまだ紅葉が楽しめる。来館者の皆さん、遠くからお越しいただきありがとうございます」とあいさつ。添田産の新鮮な野菜や道の駅むなかたの海産物、外では唐揚げやこんにゃく、つくたてのお餅などの販売が行われました。また、恒例となった豪華賞品が当たる抽選会もありました。



↑開店の9時になると同時に、館内はお客さんでいっぱいになっていました

↓今川河川敷で植樹する左から春本村長、井上町長、寺西町長、山本副市長



今川の清流をいつまでも地域で守る

今川流域市町村連絡協議会植樹

今川流域4市町村で、河川環境の保全などを通して地域活性化に取り組む今川流域市町村連絡協議会（会長・寺西明男町長）が11月23日、京都郡みやこ町で植樹を行いました。今川の環境保護や美化を目的に3回目となる今回の植樹には寺西町長をはじめ、春本武男赤村長や井上幸春みやこ町長、山本英二行橋市副市長らが参加。春に花を咲かせるソメイヨシノ10本とカワズザクラ10本を今川の清流が後世まで続くよう願いを込め植えました。

↓4チームに分かれた参加者はサッカーボールを使って楽しく交流しました



みんなで体を動かして、楽しもう

健康づくり地域交流フェスタ

町体育館で11月5日、世代間交流と健康増進を目的に健康づくり地域交流フェスタが行われ、小学校1年生からシニア世代まで128人が汗を流しました。進行役のプロサッカークラブ・アビスパ福岡のコーチ陣のユニークな指導を受けながら、年齢を問わず楽しめるボールを使ったミニゲームなどで汗を流す参加者の皆さん。添田小学校6年生の古森望夢さんは「アビスパ福岡のコーチが優しく、とても楽しかった」と笑顔で話していました。

↓1年間の無病息災を願う人々の列。ステージイベントもたくさんあり、皆さん楽しめました



地元の味と人柄に触れた1日

上津野収穫祭

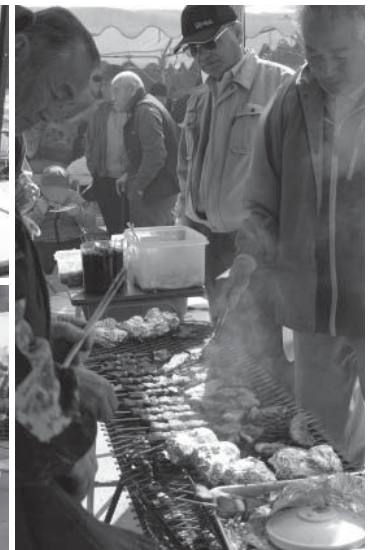
11月3日、上津野活性化センター付近で上津野村づくり推進協議会（松崎和彦会長）主催の上津野収穫祭が行われました。会場では、おしるこやシシ汁、ジビエの串焼きなど地元ならではの料理の販売や、花の競りなどが行われました。また、大相撲・東関部屋の東関親方や振分親方（元小結・高見盛）など4人が招待され、来場者と記念写真を撮ったり、料理を食べたりと、津野でのひとときを楽しんでいるようでした。



↓東関親方⑥と振分親方⑥と一緒に記念撮影です



↓射的や花の競り、秋の味覚を楽しみに、町内外から多くの人々が訪れました



↓多くの人々が遠方からも訪れて、絶景の深倉峡でアトラクションや地元の味覚を楽しみました



晩秋の1日、深倉峡で楽しむ

第21回英彦山男魂祭

奇岩や巨石が存在し、赤や黄色の紅葉が美しく染まる中、随所に滝が流れる絶景の深倉峡で11月13日に開催された英彦山男魂祭。また、慈母観音をまつる大きな窟（うほがらどろ）で地元の二区深倉観光協会主催の深倉大祭が行われ、町内外から多くの観光客で賑わいました。見ごろを迎えた紅葉の中、勇壮な和太鼓の演奏に耳を傾けたり、子どもたちと一緒にバルーンアートを楽しんだりして、祭を満喫する参加者の皆さん。会場ではジャンケン大会も行われ、深倉名物の姥だんごやシシ汁、ヤマメの塩焼きなども好評で、訪れた人は冷えた体を温め晩秋の1日を楽しんでいました。



絵を描くことの楽しさを見つけてね イチカワチヒロイラスト展

添田町出身のイラストレーター、イチカワチヒロさんが、絵本「南の島のカウカウ」を出版。その原画などを展示したイラスト展が11月5日から12月3日まで町立図書館で開催されました。会場にはイチカワさんも訪れ、おはなし会に参加したり、イラスト体験をしたりして、子どもたちと一緒に楽しく絵を描いていました。



↑子どもたちが絵を描くのを見つめるイチカワさん

町村対抗、体育で深める交流の輪 田川郡身体障害者体育大会

10月30日、そえだサン・スポーツランドで田川郡身体障害者体育大会が行われ、郡内7町村の障がい者や家族、支援者など約200人が参加してさわやかな汗を流しました。パン食い競争やタイヤ転がしなど全11種目の競技が町村対抗で行われ、添田町は惜しくも優勝は逃しましたが、秋の一日を楽しく過ごしていました。



↑パン食い競争では、上手にパンを取っていました

熊本・大分地震の被災者の手助けに チャリティーコンサート義援金

9月に第6回大震災チャリティーがんばろう熊本・大分アマチュアバンドコンサートin田川がオークホールで開催され、皆さんからの義援金9万227円が集まりました。義援金は11月22日、同実行委員長の照瀬智幸さんらが役場を訪れ、復興の手助けになるようにと寺西町長を通じて西日本新聞民生事業団へ寄託しました。



↑入場料と会場で募った義援金を渡す照瀬さん④

350 人のボランティアが除草作業 油木ダムを美しくする会

11月6日、油木ダムを美しくする会（金子鳴身会長）による除草作業が行われ、北九州市や行橋市、九州電力のボランティアや桜の木オーナー、地元の皆さんなど約350人が参加。終了後は、地元で採れた山菜弁当やシシ汁、焼きシイタケがふるまわれ、参加者は津野の味覚を味わいながら、作業の疲れを癒していました。



↑1年間で伸びた雑草を刈っていくボランティア

トントンみんなできのこの駒打ち 津野小児童がきのこの駒打ち体験

津野小学校で11月11日、添田町林業クラブ（小田宣和会長）の皆さんを講師に迎えて2～4年生の5人が、シイタケとヒラタケ、キクラゲの駒打ちを体験しました。クヌギの木と柿の木に空けた穴に、金づちを使って丁寧に駒打ちする児童たち。収穫は再来年で、児童は給食などで出されるのを楽しみにしている様子でした。



↑木を回しながら、テンポよく駒打ちする児童

火の元には十分、注意しましょう 添田町秋の火災予防運動街頭啓発

秋の火災予防運動の一環として11月20日、添田町消防団（田中久美男団長）が歓遊舎ひこさん前で啓発活動を行いました。来館者に対して「乾燥する季節です、火災に注意してください」と呼びかける団員たち。また、日ごろのパトロールで火災や不審火の危険性があると判断された場所の草刈りや、ゴミ拾いも行われました。



↑歓遊舎で来館者に火災予防の啓発をする消防団員

↓クリスマスやお正月など、楽しい行事がたくさん冬の休みをちょっぴりオシャレに演出



いつもの食卓を華やかに彩る 親子で楽しむテーブルコーディネート

11月25日、添田中学校でPTAの事業の一環として、親子で楽しむテーブルコーディネートが行われました。季節や料理など、テーマに合わせて食卓に食器やテーブルクロス、花などを飾って華やかにし、家族やお客さんをもてなすテーブルコーディネート。今回は親子でお茶を楽しむために、フェルトを使いティーマット作りとフラワーアレンジメントに挑戦しました。参加した親子は「楽しく簡単に作れて、参加してとても良かった」と話していました。



挑戦しました。参加した親子は「楽しく簡単に作れて、参加してとても良かった」と話していました。

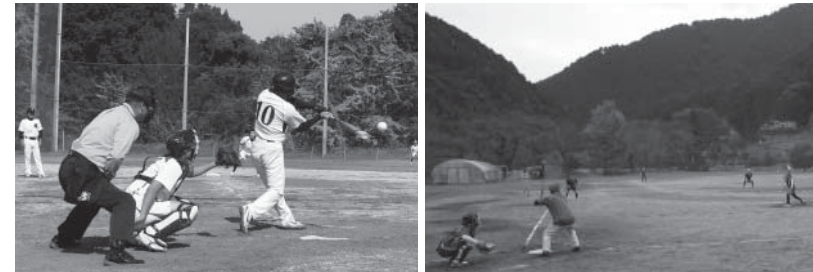
東京五輪も夫婦二人で仲良く 第46回金婚式

町民会館で11月9日、添田町社会福祉協議会（宇都宮多美子会長）主催による金婚式が行われ、結婚50周年を迎えた夫婦22組と60周年を迎えた3組が出席しました。式では、宇都宮会長が「今日は男性から奥様に“ありがとう”と感謝の言葉をかけてあげてください」と挨拶。婦人会の踊りや、たから保育園とくみ保育園の園児による、歌や演奏が披露されました。また、保育園児から「おめでとうございます。2020年の東京オリンピックも夫婦二人で仲良く楽しんでください」と紙で作った手づくりの金メダルを首にかけてもらおうと、皆さんは笑い浮かべて、喜んでいました。

↓夫婦で支えあい、力を合わせて、今日まで歩んできた結婚50年④と60年⑤を迎えた皆さん



↓地域の皆さん、今後も福太郎めんべい女子ソフトボールチームに温かい声援をお願いします



地域密着のチームを目指して めんべいチームがソフトボール交流

今年4月に発足した福太郎めんべい女子ソフトボールチームが練習試合を通じて、地域の皆さんと交流しました。10月30日、めんべい添田工場グラウンドで添田壮年クラブと対戦。試合は1点差で添田壮年クラブが見事、逆転勝ちを収めました。試合後、添田壮年クラブの木森恭祐監督は「外野を中心に守りの固い良いチームという印象をうけた。今後も地域密着のチームとして頑張ってほしい」とエールを送っていました。11月13日には、津野小学校グラウンドで津野地区公民館チームの皆さんと試合。終了後には、地域の皆さんと一緒にバーベキューで交流していました。



ゆうせい
木下 湧晴ちゃん
12月24日生 ②・真木

ゆうくん2歳の誕生日おめでと
う♡やんちゃもほどほどに、♡
笑♡これからますます大きくな
ってね♡



たまみ
藤本 珠実ちゃん
12月23日生 ③・峰地団地

いつも皆さんに可愛いがっても
らって感謝です。トイレレー
ニング頑張ってます♡ たまみ

◎3歳までのお子さん募集中 1月生まれは12月14日☎まで
Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前
の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50
文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先

koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp



てつや
荒木 哲也ちゃん
12月12日生 ③・下中元寺

てっちゃん大好き♡♡お誕生日
おめでと♡



ゆうと
山中 優歩ちゃん
12月30日生 ②・下中元寺

2才のお誕生おめでとう！大好き
なアンパンマンのように強く優し
いゆうとくんできてね♡

これからも元気で長生きしてください 老人クラブが高齢者施設を慰問

10月27日、添
田町老人クラブ
連合会（桑野裕
之会長）が、奉
仕活動として、
養護老人ホーム
錦風荘と特別養
護老人ホームそ
えだを慰問しま
した。老人クラ
ブによる日本舞
踊やフラダンスなどが披露されると入所者の皆さん
は、盛んに拍手を送るなど楽しい一日となりました。



↑華麗に日本舞踊を披露する老人クラブ

大空高く舞い上がる思いを込めた風船 添田小学校で人権授業

添田小学校3
年生を対象に10
月26日、人権教
室が行われまし
た。人権擁護推
進委員から授業
を受けた児童た
ちは、みんなが
幸せに輝いてい
けるように学ん
だ後、校庭にて
思いを込めた風船を一緒に飛ばす児童たち
で、ヒマワリの種と人権を守るという思いを込めた
メッセージ付きの色とりどりの風船を飛ばしました。



↑思いを込めた風船を一緒に飛ばす児童たち

天狗にさらわれた“仲間”を助けだせ

児童館～岩石山スタンプラリー(児童館事業)

添田町の民話「花月」を参考にしたスタンプラリーが11月19日
に開催され、小学生とシニアパワーアップ塾の皆さんが参加しま
した。各班で協力して、天狗にさらわれた
人を助けるために、児童館から岩石城まで
各地点の課題をクリアしながらスタンプを
集める参加者の皆さん。力を合わせ手に入
れたスタンプの文字は「な・か・ま」でした。



↑岩石城では仲間とポーズを決めて、最後のミッションクリア

手や足を使って、思い思いの色で描く

TOSHIさんが中元寺小学校で美術の授業

添田町出身でパリを拠点に活動する造形作家 TOSHI さんが10月
28日、中元寺小学校で美術の授業をしました。音楽に合わせ、筆
やスポンジを使って動物を描き、自分の髪
の毛に絵の具をつけて描くパフォーマンス
も披露した TOSHI さん。児童たちも筆や手
のひら、足の裏を自由に使い、白い布に思
い思いの色で絵を描き、楽しんでいました。



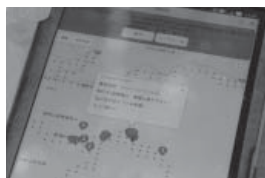
↑それぞれの豊かな感性を、自由に表現することができました



登山に役立つアプリの開発中です

九工大が英彦山で実証実験

町と ICT 分野で包括的連携協定を締結している九州工業大学が
11月21日、英彦山で登山者支援の便利な機能(アプリ)の実験を行
いました。この機能は「徒歩5分以内に来
れる人」など災害や救助の情報をコンピュ
ーターが地図を計算し、必要な条件の人だ
けに限定して情報交換できるシステムで、
実用化にむけた開発が進められています。



↑学生たちがタブレットを持って、英彦山登山道で実験しました

文芸歳時記

【俳句 添田福寿句会】

庭の木々剪り整へて冬に入る 渡辺 恵美
夕映えの山輝きてもみじ冷 安藤はじめ
秋晴のねりんスポーツ和みけり 熊谷トシエ
吾らしきドラマもありて年暮れる 鶴原 幸江

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

コスモスや吹かれしままの手櫛かな 諫山 静香
空耳か空目か風の男郎花 池 三太
爽けしやさす手ひく手の舞扇 安永 藻香
何ごとも中途半端に秋の暮 石谷タツ子
引き揚げのリック語るや豊子の忌 牧野八寿子
秋が来た食に文化に野に山に 松尾 揚子
友よりの便り立ち読む菊日和 森田 竹子
秋の街風に段差のありにけり 大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

蘇州夜曲、銀河鉄道九九九の 歌声揃ふ満員会場 大塚 成子
満月と戯れ走る黒雲を いとしと思へば夜は短かし 五十嵐田鶴
ひらひらとアサギマダラの飛び来たり 小庭に花咲く藤袴の上 平井 朝子

娘より銀婚式の招待状

過ぎ越し日々のまざまざと顕つ 木村 寛子

無人駅に降りるは吾のみ傘さして

御祥忌法要雨に包まる 荒巻ミサ子

猛暑経て雨風に耐へし枯尾花

銀色の穂のさやめきてをり 福富 廣枝

【短歌 投稿】

誰がいつ何処で何をと言う都知事

その通りなりはて我が町は 濱田イサオ

【川柳 投稿】

雨上がり野田獅子楽は躍動す 濱田イサオ

【俳句 投稿】

七・五・三世相に愛のスパームーン 村岡 清香
孫たちの餅つくしぐさのあどけなさ 矢野 英喜
隠沼のかたえに猪のぬた場かな 天野ユキ海
ふる里の山笠円ろし野菊晴 斎藤智寿子
隠沼に雲のさざ波秋惜しむ 柴田 一世
往還の標に秋の深みくる 島津余史衣
冬ざれや谷千丈の処刑跡 立花 克明

●俳句・川柳を募集します

1月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します。12月
14日☎までに役場まちづくり課に連絡してください。

☎役場まちづくり課広報係(☎82-5964)



教育のひろば



▶添田町の小学校における外国語活動

Assistant Language Teacherという言葉をご存じですか。日本語に訳すと「外国語指導助手」と言い、ALTと呼んでいます。町では、英語を母国語とするALTを活用し、外国語活動の授業で教師の補助をしています。

英語は、国際社会の中で話すためにはかせない言語です。文部科学省でも小学校からの英語教育に力を入れ、平成24年度から小学校5・6年生では「聞くこと」、「話すこと」を主として外国語活動の授業が必修となりました。

町でも外国語活動の授業にALTを取り入れており、子どもたちがALTとの会話をとおして、英語に慣れ親しみ、外国の文化や習慣にも触れることなどにより興味や関心を高める授業をしています。さらに、教師もALTと一緒に学習を進めるための研修も行っています。

今後、文部科学省では平成32年度から小学校での外国語活動の授業時間を増やし、3・4年生にも広げる方針です。これまでの様な英語の授業ではなく、「話せる」生きた英語の授業に転換する時期になっています。

添田町ではこのような教育の流れにいち早く対応することが必要と考えています。添田の子どもたちが、外国語に興味を持ち、将来、さまざまな夢や希望に向かって努力できるよう、学校への支援をしていきます。

☎ 教育委員会学校教育課 (82-5963)



↑ALTのLester Johnson (レスタージョンソン) 先生

健康診査です。毎年受診すること、健康状態をチェックできます。実施期間中は近隣の医療機関で受診できますので積極的な受診をお願いします。対象者には12月上旬に受診券を郵送しています。

▼実施期間 12月1日(土)～平成29年1月31日(火)

▼対象者 国民健康保険に加入している40歳～74歳で、今年度中に特定健診を受診していない人

▼料金 500円

※受診できる医療機関一覧は、受診券と同封して送付していますので確認してください。

▼種目 高等工科学校生徒中卒(見込み含む) 15歳以上17歳未満の男子(一般) / 第3回自衛官候補生18歳以上27歳未満の男子(陸・海・空一般)

【採用説明会】

▼とき 12月11日(日)、18日(日)

①10時～ ②13時～

▼ところ 自衛隊飯塚地域事務所(飯塚市)

※詳しくは自衛隊福岡地方協力本部まで問い合わせください。

☎ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 (0948-22-4847)

福岡県公衆衛生医師採用試験

福岡県保健福祉環境事務所などで、保健・医療・介護施策の企画立案に携わる仕事です。

▼採用予定数 2人

▼選考方法 面接、小論など

▼応募締切 平成29年1月20日(金)

※応募要件、採用時期、申し込み方法など、詳しくは問い合わせください。

☎ 福岡県保健医療介護総務課 (092-643-3237)

危険物取扱者試験 受験準備講習会

【危険物取扱者試験】

☎ 役場住民課保険年金係 (82-5966)

医師・歯科医師・薬剤師は2年に1度の届出を

医師、歯科医師、薬剤師の免許を持っている人は、就業の有無にかかわらず2年毎に氏名や住所などの事項を届け出ることが義務づけられています。今年はその届出年ですので、期限までに提出してください。

▼届出票配布場所 県内の保健所・保健福祉環境事務所窓口、県ホームページ

▼届出先 住所地を管轄する保健所・保健福祉環境事務所

▼期限 平成29年1月16日(月)

☎ 福岡県保健医療介護総務課 (092-643-3238)

女性特有がんクーポン期限 平成29年2月末まで

女性支援のためがん検診をより一層推進するため、8月に対象者に子宮頸がん乳がんの無料クーポン券を送付しています。

☎ 福岡県保健医療介護総務課 (092-643-3238)



昨年10月1日を基準日に実施しました「平成27年国勢調査」の集計結果が総務省から公表されましたので、お知らせします。

●日本の総人口 1億2,709万4,745人

●福岡県 人口 510万1,556人

●添田町 [] は22年国勢調査 人口 9,924人 [10,909人] (男4,617人、女5,307人) 世帯 4,029世帯 [4,215世帯]

☎ 役場まちづくり課 (82-5965)

忘れず検診を受けましょう。

▼有効期限 平成29年2月28日(火)

▼対象者 8月にクーポン券を送付しています

▼受診方法 クーポン券が使える医療機関で個別に予約し受診してください

※不明な点は役場まで問い合わせください。

☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (88-8111)

自衛官採用試験

▼試験日 平成29年1月21日(土)、22日(日)、23日(月)

▼試験会場 1月21日(土) 福岡県立飯塚研究開発センター(飯塚市)、22日(日) 23日(月) 陸上自衛隊小倉駐屯地(北九州市)

【給食調理員(パート職員)】

▼給与 時給850円

※詳しくは問い合わせください。

☎ 特別養護老人ホームそえだ (82-4112)



福岡県保健福祉環境事務所などで、保健・医療・介護施策の企画立案に携わる仕事です。

▼採用予定数 2人

▼選考方法 面接、小論など

▼応募締切 平成29年1月20日(金)

※応募要件、採用時期、申し込み方法など、詳しくは問い合わせください。

☎ 福岡県保健医療介護総務課 (092-643-3237)

危険物取扱者試験 受験準備講習会

【危険物取扱者試験】

☎ 役場住民課保険年金係 (82-5966)

医師・歯科医師・薬剤師は2年に1度の届出を

医師、歯科医師、薬剤師の免許を持っている人は、就業の有無にかかわらず2年毎に氏名や住所などの事項を届け出ることが義務づけられています。今年はその届出年ですので、期限までに提出してください。

▼届出票配布場所 県内の保健所・保健福祉環境事務所窓口、県ホームページ

▼届出先 住所地を管轄する保健所・保健福祉環境事務所

▼試験日 平成29年2月26日(日)

▼試験会場 福岡県立大学ほか

▼試験の種類 全種類

▼電子申請 12月16日(金)～平成29年1月8日(日)

▼書面申請 12月19日(月)～平成29年1月8日(日)

【受験準備講習会】

▼とき 平成29年2月5日(日)

▼ところ 田川地区消防本部

▼講習の種類 乙種第4類

▼受付期間 12月12日(日)～平成29年2月3日(金)

☎ 田川地区消防本部危険物係 (44-0650)

水道に関する作業員募集

水道メーター検針員・水道料金集金員・浄水場作業員を募集しています。

▼募集人数 各1人

▼勤務日数 月15日程度

▼契約期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

▼募集期限 12月16日(金)

▼応募方法 役場水道課まで履歴書を持参してください

※詳しくは問い合わせください。

☎ 役場水道課管理係 (82-5961)

国民健康保険の特定健診、保健指導の個別健診を実施

特定健診は、メタボリックシンドロームや、生活習慣病の予防・改善に着目した

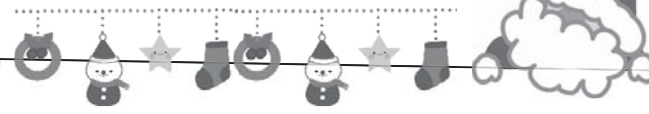
国民健康保険の特定健診、保健指導の個別健診を実施



保険・福祉

☎ 児童館 (82-3402) ・ ☎ 図書館 (82-4800)

●図書館・児童館で 楽しく過ごそう



午前の部 添中吹奏楽部& サムタイムス・ブラスアンサンブル クリスマスロビーコンサート

●とき 12月17日(土) 11時～11時40分

●ところ 町立図書館・児童館ロビー

※参加自由、参加費無料。

クリスマスフェスタ☆2016 午後の部

●内容 ▷添田町虹の会によるパネルシアター
▷筑豊大介さん「いっぺいくんとてっぺいくんの猿回し」
▷けん玉パフォーマンス▷レクリエーション など

●とき 12月17日(土) 13時30分～15時30分 (13時～受付)

●ところ 町立児童館

※午前の部も午後の部も申込みは必要ありません

※参加費無料(幼児は保護者が同伴してください)。





◇発行／添田町 ◇編集／まちづくり課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soe-da.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています



第42回添田町総合文化祭

磨き抜かれた 芸と技

円 熟された作品と芸の集大成を披露する添田町総合文化祭が、11月26日と27日の2日間、オークホールで行われました。華やかに飾られた生け花や草木染、さげもんなどの力作が展示。スポットライトに照らされたステージでは、大正琴やカラオケ、踊りなどの芸能発表が行われ、日ごろの練習の成果を披露していました。会場には、多彩な展示作品や出演者の晴れ舞台を見ようと、多くの人が足を運び、訪れた皆さんは、華麗なステージ発表に拍手を送ったり、作品の一つひとつに足を止めては、じっくり見入ったりしていました。また、ロビーに設けられたお茶席では、和菓子とお茶を味わうなど、芸術の秋を堪能していました。



町長室

今年も残り1か月となりました。この1年、元気で楽しい添田町を目指して頑張ってきました。今年を振り返っても、お亡くなりになった方が多く、健康寿命についてつくづく感じました。▼私も4年前、高血圧で体調を崩し1か月、皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。今では、体調を崩す前より元氣になりました。しかし、健康には注意しています。お酒は生ビール1杯、赤ワインはグラスで2杯と決め、快調そのものです。▼食事と共に、適度な運動が功を奏しているのかもしれない。伊原の自宅から役場まで歩いて通勤しています。添寿園や錦風荘前の心臓破りの坂を越え20分、万歩計で約3千歩です。散歩している方をよく見かけます。皆さんも頑張っているんだなと思いつつ役場に到着します。人口が減ると町にも元氣がなくなります。健康寿命についても考えさせられる1年でした。▼今年は皆さん方も、地域のために、いろいろ頑張ってくださいました。「俺たち私たちの取り組みを見て」と、案内をいただきます。出来るだけ調整し、お伺いしています。そのためか、対外的な行事を失礼することがあり、他市町村長には迷惑をおかけしているかも知れませんが、町内優先で調整しています。▼若者定住事業が注目されています。先日、福岡市内在住の新婚夫婦が、マンションを買ったため、両親に相談したそうです。その時、(添田町に縁もゆかりも無い)父親が「添田町というところでは、若者向け一戸建て新築住宅に安く入居できるそうだ」とアドバイスしたそうです。残念ながらその新婚さんは、申込期限を過ぎていたため、マンションを購入したそうです。しかし、このような新婚、子育て世代が添田町に関心を持っています。▼めんべいの女子ソフトボールチームが活躍しています。来年はさらに増え、総勢20人を越えます。そのような中で、「若い従業員が増えれば地元のパート雇用が無くなるのでは」との心配の声を聞きました。福太郎の副社長に「そんなことはないですよ」と要望しました。副社長曰く、「まだまだ今の1.8倍くらいの仕事があります。午前中はパートの方をお願いし、練習終りの午後は女子ソフトボール従業員が行うとか、勤務体制を工夫するので、地元雇用が減ることはありません」と力強く言ってもらいました。▼就農実践塾も農業後継者導入制度も町外の皆さんが関心を持っています。卒業生もおいしい野菜や花を作っていますので、皆さん応援お願いします。▼高齢者が元気で長生き、若い人がそれに続く。明るく楽しい添田町として、上手く循環すればと思っています。▼新しい年に向かって、まずは若い人に来てもらう施策、高齢者が元氣に楽しく過せる施策を推進します。来たる年は、子育て・教育のさらなる充実に向け、皆さんのご理解をお願いします。今年を振り返り、来年に向けて決意したところです。1年間お疲れ様でした。来年もよろしくお願いします。